

第2回 徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会議事録概要

平成29年10月26日(木) 15:00～

徳島市役所8階庁議室

開会	15:00～
事務局	開会あいさつ
会長	議事 (1)徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画(素案) ①「総論」について
事務局	会議資料を説明
委員	<p><b>【質問】</b></p> <p>資料10ページの介護サービスの実施状況のサービス種類訪問介護で、27年度が5,456人に対して80,132回、28年度が5,444人に対して80,605回、29年度が4,804人と人数が減って、81,138回となっているが、人数に対しての回数が急に跳ね上がっているが、これはどうしてなのか。</p> <p>また、一人あたりの利用回数は決まっているのか。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>平成29年度の利用見込みについては、4月分5月分(介護保険事業状況報告5月分6月分)の2ヶ月分の実績値により推計している。最終的には半年分の実績値により推計することになるが、推計作業期間中に順次公表されているため、現在は2ヶ月分のみでの推計となっており、実績データが少ないことにより、実績見込みと実績値に誤差が出ている。</p> <p>利用回数については、それぞれの状態に応じて決めていくことになる。</p> <p>ただ、上限は決まっている。</p>
委員	<p><b>【質問】</b></p> <p>同じ表で、下から4つ目が特定福祉用具購入費となっているが、費用ではなく人数が書かれているが、これは購入人数なのか、それとも購入費なのか。</p> <p>また、自宅での購入分意外、事業所としての購入分も含まれるのか。</p> <p>福祉用具貸与が27年度4,506人、28年度4,828人、29年度5,263人と増えているが…。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>サービスの種類の名前で表示させていただいており、サービス種類として利用した人数で、自宅で購入されている人数である。</p> <p>ケアプランに基づき福祉用具貸与されている人、もともとの高齢者の人が増えていっているので、借りられている人の数も増えているという形になっている。これについては、一定の条件があるため、購入になじまない人ほとんどの人がレンタルになるため、貸与という形になる。</p>

会長	②「各論」第1章 地域ぐるみ支え合い体制づくり 【施策1】いつまでも元気で暮らせる健康づくり
事務局	会議資料を説明
委員	<b>【質問】</b> 資料43ページ「疾病の早期発見・早期治療」の中で、胃がん、肺がん、大腸がん受診率がずいぶん低いですね。30年から32年もかなり低いが、もう少し啓発、広報活動などを工夫されたほうがいいのではないかと。
事務局	<b>【回答】</b> この数字については、40歳から69歳までの市民のうち、当該年度において本市が送付した受診券で各検診を受診した人の割合となっている。
委員	<b>【意見】</b> 65歳以上のパーセンテージではなく、対象者全員でこんなに低いのであれば、尚更もっと啓発しないと。
委員	<b>【意見】</b> 資料41ページの成果指標について、健康寿命をどれだけ延ばすという目標に対して、健康寿命の延伸を増やすと言っていて、主観的健康観の高い高齢者の割合を目標値にするのはちょっと違うのではないかと。 例えば、平均寿命と健康寿命の差を少し短縮するとか、実際の健康寿命の延伸を目指すのであればその方が明確だし、そのために健康相談とか健康教育をより行っていくという理屈のほうが合うのかもしれないですね。 先程もお話があったが、徳島県のがん検診の受診率は低く、徳島市も当然低くて、それを上げていくには、やっぱり健康寿命をどれだけ延ばすかっていうことが医療費と介護費の削減にもつながるので、ここはちょっと思い切ってそういう指標を入れてはいかがでしょうか。
事務局	<b>【回答】</b> 数字の取り方が、市町村単位で取れるのかがわからないのですが。
委員	<b>【意見】</b> 厚生労働省から出ているっていうことは、必ずその取り方の指標は各行政体から取っているはずなので、それは取れるのではないかと思う。
事務局	<b>【回答】</b> 事務局側として、今現在数字を取っておりませんので、ご意見としていただき、検討したい。

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p><b>【質問】</b></p> <p>資料4 2ページの元気高齢者づくり事業の中で、市内の公民館やコミュニティセンター等で開催しており、その活動の支援を図るということで目標値を決めているが、この目標値はどのような図り方をしているのか。</p> <p>平成30年度は28,800人とあるが、現在は何人ぐらいが利用しているのか。</p>
<p>事務局</p> <p>委員</p>	<p><b>【回答】</b></p> <p>運動教室が市内に19教室あり、その「利用者数×開催回数」で算出。</p> <p>平成28年度の決算で利用延べ人数が28,005人となっており、そこから徐々に増やしていくというイメージ。</p> <p>今のところ、19教室ということで、受入れ人数にも上限があるため、爆発的に増えるというのは難しいが、徐々に皆さんにご利用いただけるような制度を目指していきたい。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p><b>【質問】</b></p> <p>増やしていくためにどういう方法をとるのか。公民館やコミュニティに増やしてくれという依頼をするのか。</p>
<p>事務局</p> <p>委員</p>	<p><b>【回答】</b></p> <p>今のところ受入れ人数に若干余裕があるので、まずは広報活動に力を入れていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p><b>【質問】</b></p> <p>資料4 3ページの表で、パーセンテージを出したときの母数は何かというのがわからないので、一体何を母数にして数字が出てくるのか、母数の記載を是非お願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>【回答】</b></p> <p>母数の表記ということですね。</p>
<p>②「各論」第1章 地域ぐるみ支え合い体制づくり</p> <p><b>【施策2】 生きがいのある地域づくり</b></p>	
<p>委員</p>	<p><b>【質問・意見】</b></p> <p>資料4 8ページの高齢者へのバス無料乗車券等の交付のことが書かれているが、高齢者ご自身で運転免許証を返還される場合に、無料の乗車券を交付するのはどうかという提案ですが、いかがでしょうか。</p> <p>75歳以上の人の運転免許証の更新時に、認知症のテストを行い認知症かどうかの診断をつけないといけないが、私たち医療機関、医師会でもちょっと問題にはなっていて、みんな最初はかなり抵抗があったが、協力して行っている。逆走問題とか高齢者の問題が多いですから、返還したほうが良いと思う。</p>

事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>まず、現行の制度で、所得オーバーで無料のバス券が出ない方に対して、運転免許証の自主返納者の方については 200 円の運賃が 100 円ということで、半額免除という制度を既に実施している。</p> <p>それで、来年度予算に向けて、当課としては今おっしゃっていただいたように、自主返納者の方で所得が基準をオーバーされている方については、申請制ということで無料のバス券を交付できるような形で動きたいと考えており、予算要求をしていく方針である。</p>
委員	<p><b>【質問】</b></p> <p>資料 4 5 ページのダイヤモンド婚・金婚式の開催について記載があるが、ダイヤモンド婚については、他の市町村は 60 年にしているところが多いようだが、徳島市が 70 年にしているのには何か理由があるのか。</p> <p>前にもお聞きしたことがあるが、今年は 2 組ですかね。ちょっと 70 年だったら厳しいような気がします、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>毎年そういうご意見をいただくが、ダイヤモンド婚・金婚式という制度は法律で定められているものではなく、何年でお祝いするかというのには、70 年という意見もあれば、65 年 60 年とそれぞれの意見がある。</p> <p>制度が始まった当初になぜ 70 年にしたのかというところまでは把握しては いないが、財政状況も厳しい中で、寿命も延びていっているところであるため、 なかなか今からお祝いの年齢を引き下げるのは現状難しいと考えている。</p>
会長	<p style="text-align: center;">②「各論」第 1 章 地域ぐるみ支え合い体制づくり</p> <p style="text-align: center;"><b>【施策 3】 介護予防と社会参加の推進</b></p>
委員	<p><b>【質問】</b></p> <p>資料 5 1 ページの成果指標のところ、介護予防・生活支援サービス事業に占める多様なサービスの割合が現状は 0%になっているが、介護予防・生活支援サービス事業に占める多様なサービスの割合とはどういうことなのか。</p>

事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>平成 28 年度まで介護予防給付と言われていたサービス、訪問介護と通所介護が今現在総合事業に移行してきている。資料 5 1 ページの下の図は訪問型サービスの種類で、一番左が多様なサービスではない現行の訪問介護相当となり、そこから右側に 4 つ、②から⑤まで訪問型サービス A から D というのが多様なサービスということで、国から位置づけられているもので、こちらのサービスを今後充実させていくことにより、多様な主体による多様なサービス、比較的料金が低い中で実施できるサービスを開発していくことが求められている。</p> <p>成果指標の目標値の 9% というのは、今現在訪問介護サービスで使われている件数の中の 9% を多様なサービスのほうに移すというイメージ。91% は総合事業の現行相当の訪問介護相当サービスを使っているが、あとの 9% はサービスを開発して多様なサービスに移行させるというようなイメージで考えている。通所介護も同様。</p>
委員	<p><b>【質問】</b></p> <p>②③④⑤が多様なサービスに入るということで、こういう部門を開発していくということですね。</p> <p>では、目標値の 9% の分母は何ですか。全体の①から⑤まで入れた分が分母になるわけですか。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>そうです。訪問介護の①から⑤まで全部入れた利用回数が分母。</p>
委員	<p><b>【質問】</b></p> <p>②から⑤が 9% ということですね。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>はい、そうです。</p>
委員	<p><b>【質問】</b></p> <p>多様なサービスの中で、訪問型サービス C の短期集中型で保健師等による居宅での訪問指導、ADL の改善に向けた支援とありますが、介護予防分の訪問看護は適用できるが、ひとつのこの時の棲み分けを教えてください。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>訪問型サービス C については、まだ検討段階であり検討が進んでいない状況で、訪問看護との棲み分けというところで、今明確にお答えできるような内容を整理してない状況です。申し訳ありません。</p>

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p><b>【意見】</b></p> <p>余談にはなるが、多様なサービスということで、介護されている方から直接聞いた話を例にしますが、介護していて網戸の張り替えをしてくれとか、介護者の方が介護を受ける方からセクハラめいたことまで要求される、気に入らなければ介護に来てくれる人を変えてくれとか、ひどくなったら事業所を変えてくれという要求を出してくることが多々あるとのこと。</p> <p>そういう意味で、もっと現場に近づいて現場で働いている人のお話を聞いていただいたら、もっといいものができるのではないかと私は感じた。</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>網戸の張り替えに関しては、まず生活支援サービスということで、例えば買い物支援であるとか、話し相手、ゴミ出し、このようなものがホームヘルパーさん等の業務のほうに入り込んでしまっているような状況だが、実際高齢者の方はどんどん増えていき、専門職の方の人材確保は難しいところがあるので、それらのサービスについては、それこそ多様なサービスで地域住民のボランティア団体等に移行させることにより、専門職の方にはもっとより専門性の高い業務に専念していただけるような枠組み、仕組みを作っていきたいと考えている。それは、生活支援体制整備事業ということで、今年の10月から開始しているが、そちらの中で構築していく予定。</p> <p>次に、セクハラとか利用者間のトラブルの話については、わりと珍しい話ではなく、ちょくちょく話はあがってくる。ケアマネさんや事業所等から相談があり、その都度個別のケース会議ということで、地域ケア会議を開催し、関係者間で情報の共有や対処方法の検討などを行っている。そのような形で今後も対応を進めていきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>②「各論」第1章 地域ぐるみ支え合い体制づくり</p> <p><b>【施策4】介護・福祉サービスの充実</b></p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p><b>【質問】</b></p> <p>資料56ページの地域包括支援センターの機能強化とあるが、2025年問題ということで益々高齢化率が上がっていく中で、地域包括としては14ヶ所設置されていると思うが、人材的には配置として、現状からして十分機能しているのか。</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>地域包括支援センター徳島市内1ヶ所、ブランチとして在宅介護支援センターがあり、非常に業務が複雑化し業務量も増えている中で、今のところ非常によく対応してくださっているが、今後、生活支援体制整備事業や地域包括ケアシステムの取り組みが深まるにつれ、人材不足も予測されるので、適切な配置、人材確保についても考えていかなければならないと考えている。</p>

委員	<p><b>【意見】</b></p> <p>相談件数を成果指標にするというのはちょっとどうかと思う。相談件数を目標値にしても、結局さっき事務局からお答えがあったように、地域包括支援センターの存在がまず住民の方々によく知られることが前提で、その取り組み内容がある程度ご理解いただいた上で相談件数っていうのは数字的に増えることであって、それを増やすという目標値を立てるとするのは、ちょっと違和感がある。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>これについては、平成 28 年度に策定しました徳島市まちづくり総合ビジョンという総合計画で成果指標として同様の数字を掲げているもので、そちらとの連携を図るという意味合いでこちらのほうにも成果指標として掲げさせていただいておりますが、おっしゃっていただいた意味もわかるので、検討したい。</p>
委員	<p><b>【質問】</b></p> <p>認知症カフェの開設支援ということだが、実績はどのぐらいあったのか。また、目標はあるのか。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>認知症カフェについては、徳島市で設置はしていないが、認知症の人と家族の会や民間の社会資源のほうで設置してくださっている認知症カフェがあり、数でいうと 10 弱。</p>
委員	<p><b>【質問】</b></p> <p>民間で。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>はい。民間で。徳島市として直営の認知症カフェを設営するというようなイメージでは今は考えていないが、認知症カフェを開設したいというようなご相談があれば、先進事例や今現在の取り組み状況などの情報提供という形で立ち上げ支援というのを今のところ検討している。</p>
委員	<p><b>【質問】</b></p> <p>それに対して目標はないのか。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>今のところ、目標というのは考えていない。</p>

<p>委員</p>	<p><b>【質問】</b></p> <p>老人ホームでは、一人暮らしのお年寄りが入所してくるケースが非常に多くなってきた。養護老人ホームでは家族間でコミュニケーションがうまくいかない方を多くお預かりしているが、お金やマイナンバーの管理についてどのようにすればいいか。</p> <p>後見人をつけても、後見人はお金の支払い、お小遣いを毎月持ってきていただくというようなことをしていただけるが、亡くなった方でお金を持っている方もいて、お金が残った場合など、今後そういうケースも多くなっていくと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>【回答】</b></p> <p>なかなか公的なサービスとして何かができるとは、ちょっと今はお答えしかねますが。</p>
<p>委員</p>	<p><b>【意見】</b></p> <p>難しい問題で、施設に入ってから後見人をつけるとしても、約1ヶ月手続きにかかるじゃないですか。だから、入所の以前から行政と事業所が一緒になってそういうふうな方向性に向けていただくというようなことをお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>【回答】</b></p> <p>後見人制度の中で、残った財産の問題点が確か国から少し示されていたと思う。それと、リビングウィルや終活、そういう形で身寄りのない方についてはどうされるかということを考えていくというのは、これからの時代の流れだと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p><b>【意見】</b></p> <p>聞いた話だが、この10年間でケアマネさんがケアプランを作る事例では、貧困事例がすごく増えてきたとのこと。先程おっしゃっていたような孤独のお年寄りが増えてお金まわりをどうするかというものもあるが、生活の会計をどういうふうに入していくかというのが非常に問題になっている。こういう点をやっていく計画の中で、そういったものは必ず大きくなる。他構図の仕組みをもう少し明確にしていけないと、個別の事例だけでどうこういうような問題では進まない場合がある。いろんな方々に法律も含めてお話を聞いていかないと、あとは人工的な分野のニーズの配分を考えながらディスカッションを進めていくというような目標もあってもいいのではないかな。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>【回答】</b></p> <p>福祉の問題は多岐にわたって、特に貧困事例については、市内の65歳以上の高齢者の本人非課税の方が約65%を占めている状態になっている。</p> <p>全体的な話としてのご意見として承ります。</p>

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p><b>【質問】</b></p> <p>貧困の問題の続きとして、住環境に関係することになるが、低所得者層の住宅問題について、高齢者の住宅政策は非常にめまぐるしく色々変わってきていて、民間の介護のデイサービス系、そういうところも高齢者に活用していこうという傾向がある中で、地域によっては民間の普通の賃貸住宅として貸し出されているようなところ等を行政が認識して、高齢者の方でも低所得者の方でも貸し出せるように作られたりされているが、徳島市はそういうのは。</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>空き家対策は実はまだ始まっていないが、県レベルで空き家を活用するという形の計画があり、その会議に徳島市介護・ながいき課がメンバーとして入ることになっている。市で直接何かをすることはないが、保証人はいらぬという流れを県レベルの段階で不動産業界と連携しながら、空き家活用の流れが現在進んでいると聞いている。</p>
<p>会長</p>	<p>②「各論」第1章 地域ぐるみ支え合い体制づくり</p> <p><b>【施策5】医療と介護の連携推進</b></p> <p><b>【施策6】在宅生活の継続を支える地域づくり</b></p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p><b>【質問】</b></p> <p>資料67ページで、看取り率の目標値を15%、私の知る限り多分2009年に13~14%という自宅看取り率ですが、これは低いのですか。それとも高いのですか。</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>今、現状値が未計測で、計る指針がなかったため、このぐらいかと考えてはいるが、今おっしゃっていただいたように13~14%ということであれば、低い目標になってしまっているかもしれないので、もう一度検討させていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p><b>【質問】</b></p> <p>資料71ページで住宅に関する記載があるが、39ページの地域包括ケアシステムの図を見ていただくと、中心は住まいということになっていて、その住まいの中で医療や介護や予防が提供されるようになっている。私は医療や介護を提供しているが、住まいとタッグをちゃんとしないと難しい。行政的には医療と介護の部分だと思うが、同時に住宅と一緒にやっているような形のものはあるのか。横断的にその課と一緒に連携して地域包括ケアシステムをやっているようなところがあるかどうか教えていただきたい。</p>

事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>先程ご説明しました住宅の住生活基本計画の策定会議に、高齢者福祉の観点で介護・ながいき課からも委員として参加させていただいており、地域包括ケアと連携をとりながら進めていくということで策定会議に出席し意見を述べさせていただいている。ただ、まだ立ち上がってすぐのため、今明確にこの方向性でというのはお示しできない。</p>
委員	<p><b>【意見】</b></p> <p>提供しようと思っても、住環境がうまくいっていないと、どうしてもできなくて、結局どこかに入ってしまったたりしてしまうので、できればこのメンバーも地域包括ケアシステムを念頭に置いているのであれば、そういう関係の方々も一緒に入って動いていただくのが筋かなと。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>現在介護保険の中で住宅改修という事業があり、それともうひとつ住宅改修をするために補足的に建築士会にアドバイザーをしていただいている事業も行っている。それで、先日地域のほうから少し話があったが、建築士会のほうが地域包括ケアへ参加したいという意向があるということなので、これからも考えていきたい。</p>
委員	<p><b>【意見】</b></p> <p>是非進めていただきたい。</p>
委員	<p><b>【質問】</b></p> <p>資料70ページの高齢者の権利擁護に係る施策の推進で、今、身寄りのない方でリビングウィルが取れない状態で転院しておいでなのだが、成年後見人制度で決まっても、どこまで治療するか判断をその人の意思では言えませんかと言われて非常に困りまして、病院の中の会議でどこまで治療するかを決めてやっていたのですが。</p> <p>こういう制度があり利用するのはいいが、具体的な確認で申し訳ないが、そういう時にどうすればいいのかというのが、本当にみんなの悩みなのですが。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>後見人になられても、治療の意思判断代行というのは認められていないので、難しいとは思いますが。おっしゃるような問題というのはこれからもどんどん増えていくと思うので、どのような形で対応していくのがいいのかということをお調べさせていただき、みなさんと情報共有を図っていきたい。</p>



<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p><b>【質問】</b></p> <p>資料79ページの看護小規模多機能型居宅介護サービスの説明で、「複数の居宅サービス」とちょっとわかりにくい表現になっていると思うので、厚労省が出している「医療ニーズの高い利用者の状況に応じたサービスの組み合わせにより地域における多様な要支援を行う」とか、「小規模多機能と看護の組み合わせにより医療ニーズの高い利用者を支える」とか、もうちょっとわかりやすく表現をしていただけたらありがたい。</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>検討させていただきたい。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p><b>【意見】</b></p> <p>ケアプランの点検のところで、ケアプランの点検件数が書かれている。それと資質向上を図るための研修で、特にそのケアプランの点検にひっかかってきたことについて、市のほうで定期的に講義をいただいているが、もっと具体的に事例の伝導といいますか、市のほうで開いていただけたら勉強になると思うのですが、どうでしょうか。</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>ケアプランシステムについては、国の適正化システムを利用してポイントを決めてチェックしている。今後、そのケアプラン点検について、チェックした事柄についてケアマネ講習会等でもっと込み入った話ができるような形で検討を進めていきたい。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p><b>【意見】</b></p> <p>ケアプランの点検に関しては、量的な点検がほしいのと、質的な点検については自立支援型ケア会議を活用すればかなりケアプランの質的な評価ができると思う。特に介護サービス見込量で通所介護とか訪問介護の量がすごく多いですね。これで良くする方が治していない場合もありますので、このケア会議において特に通所介護とか訪問介護の対象になる要支援のレベルとか要介護1、2のレベルのあたりの方をケア会議でしっかりと講義するとケアプランの質がかなり評価できる。ですからもう少し自立支援型ケア会議の予定を増やしていただくことを提案したい。</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>自立支援型ケア会議については、介護予防の観点から大変重要であるというのは認識している。まだ現在徳島市で直接は実施していないが、計画を立てながら実施したいというふうに考えていた。委員からのご指摘がありましたのでこれに関して考えさせていただきたい。</p>

委員	<p><b>【質問】</b></p> <p>見える化システムからの介護サービス見込量ですが、あくまでも推計だとは思いますが、認知症共同生活介護（グループホーム）の場合が 102 人、地域密着型特定施設は 0 人、地域密着型介護老人福祉施設は 84 人、2025 年平成 37 年度目標で増やされている。施設サービスのほうも介護老人福祉施設（特養）が 93 人、老健施設が 221 人と増やしまくっているのは、これでいいのか。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>先程もご説明させていただいたとおり、現時点ではデータがかなり不足しているのですが、あくまで現時点での目安にしか過ぎませんので、半年分のデータがそろったところで、同じような条件で入力を行い、数値を改めて算定した上で、明らかに特異的な数字、異常な数字が出てきている分に関しては手動で直す、あるいは現時点では明らかに過大になっているところや過小になっているところがあるので、そちらにつきましても反映していくと。</p> <p>それから施設整備のほうに関しても、先程の介護医療院との話もあるので、全体的なその辺のバランスで施設整備の方針の一定方向性をつけた上で、それを反映していくというプロセスになると考えている。</p>
委員	<p><b>【意見】</b></p> <p>それともうひとつ、通所リハビリですが、今現在高齢者のリハビリを受けている方が医療保険で受けているが、この方が介護認定を受けている場合、今現在は 6 掛け 8 掛けですから診療報酬の点数の 48%、0.48 の点数になるが、来年の 4 月でまずこれが必ずなくなり、すべて介護保険の通所リハビリのほうに入ってくるというのがほぼ確定で決まっているので、もう少しここを見込んでおいたほうがいいのではないかと。今まで病院の中でリハビリをしていたが、全部介護保険の通所リハビリに自動的に変わるので。</p>
委員	<p><b>【意見】</b></p> <p>各論の中で、第 1 章が基本的に高齢者福祉計画で第 2 章が介護保険関係で、第 3 章の計画の推進についてというのが介護保険に特化し過ぎているように思うのですが、1 章 2 章を合わせた推進に向けてという書きぶりのほうがいいのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>第 1 章の地域包括ケアシステムの構築については、この中に推進体制や総合相談のことについても網羅させていただいているため、二重に重複して書くということはひかえている。</p> <p>ただ、PDCA サイクルであるとか、そういったことについて、第 1 章も第 2 章も含めた形で対応させていただくような内容となっている。</p>

会長	議事 (2)その他 計画全体に対する意見・質問等
委員  事務局	<p><b>【意見】</b></p> <p>全体的に専門的な言葉が多いので、一般の人にはわかりにくい。これからの啓発については一般の人やお年寄りがわかるような表現の仕方、要介護1がどの程度のものか、それはどこに相談したらいいか等、そういう啓発をもっとしていただきたい。今も一生懸命していただいているとは思いますが、今一度地域のほうで説明してもらおうとか、町内会で説明してもらおうとか色々方法はあると思うので、わかりやすくしてもらえよう考えていただきたい。</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>市民の方に向けた高齢者福祉と介護を含めた本として「あんしん」というのを出させていただいておりますが、この計画と同様に色々な施策が入ってきておりまして盛りだくさんで冊子が厚くなってきて、高齢者の人の本当に欲しい情報はその中の一部分ということもあろうかと思う。</p> <p>それと、お世話をしていただいている民生委員さんにはあんしん等をお渡ししてわかっていただけるのですが、市民の方々にわかっていただける、欲しい情報がすぐに渡せるような広報の仕方、パンフレットの作成等については今後とも考えていきたい。</p>
委員	<p><b>【意見】</b></p> <p>介護保険の運営面での課題で、認定率を抑制するためとはっきり書かれて、徳島市さんものすごく勇気があると思う。認定率を抑制するということは、おそらく今国が考えている介護報酬改定でインセンティブ、つまり認定率の低い市町村にはそれだけたくさんの介護報酬の分配をしましょうという餌をぶらさげているのが今の厚労省で、より認定率を下げたいというのは市町の思惑だとはわかる。ただ、前回お守り認定の話も出ましたが、一方で介護認定の更新認定の有効期間が今度36ヶ月になるかもしれないという話も実際出ていますよね。今まで12ヶ月が24ヶ月まで延長できたのが3年そのまま放置できるということは、認定を3年間までしなくてもいいということになる可能性を含むと、認定率を抑制するということが本当に徳島市民の方にとって良いことなのか悪いことなのかというのがわからない。認定率を、例えば上流の水道の栓を閉めることで、逆に介護の必要な人にサービスが行き届かなくなるよりも、むしろケアプランのきちっとした点検をもとに被保険者一人あたりの給付月額が本当に適正なのか、サービスかたに陥っているケアプランが作られているのではないかというところを目指されたほうがいいのではないかと。認定率を下げるという書きぶりは、ちょっと挑戦的ではないかと思いましたので。</p>

事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>少し誤解を招く表現になっていますが、徳島市の介護認定につきましては、厚労省に報告を送りまして全国の中央値と比較してどうなのかという事業統計をいただいている。</p> <p>先般、最新の分が届いて、徳島市はほぼ全国の介護認定の評価の中の中央値には収まっているが、一部、かし麻痺について徳島市は重く取っているところなど、一部中央値から若干外れているところがあるが、だいたい中央値の中に収まっている状況である。</p> <p>おっしゃられたように、ここのところで認定率を抑えるというのは、大変問題になると思う。本来的には、介護予防等を推進して、事業対象者の部分を増やすということで、全体の介護認定率が下がるというイメージでいるので、抑制するという意味ではないが、書きぶりがそういう印象を与えているようでしたら、表現の仕方について検討したい。</p>
委員	<p><b>【意見】</b></p> <p>前回の第6期の策定委員会にも出席させていただいておまして、今回の第1章と第2章の並びが、前回は介護保険の数値がずっと先にきていたと思うが、それが前後したのが一番印象的だなと感じていて、地域包括ケアをこれからかなり重視してやっていこうというような計画を、目次からしてわかるような感じにガラッと変わったなという印象を受けているが、地域包括支援センターの機能強化のところの成果指標がやっぱり先ほどお話があった相談件数がという、地域ケア会議とかどういう関係でどういう人達が参加してっていうネットワークとかも色々考えられていると思うので、そういうところを自立支援型の会議とかでもですね、そういう具体的なことをするのかっていうところをもうちょっと書いていただいたほうが、ここまで前回と違う計画になっているのになんかもったいない気がした。</p>
事務局	<p><b>【回答】</b></p> <p>検討させていただきたい。</p>
会長	<p><b>【まとめ】</b></p> <p>色々、委員の皆様方からご意見いただきましたけれども、一応時間が決まっておりますので、ここで本日第2回徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会を終了いたします。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
閉会	16：55